

特別講演会

「宮城県みんなの森づくりプロジェクト」
は宮城県の助成事業によるものです。

Photo by (c)Tomo.Yun

被災後の宮城県における ウルシ漆植林の意義と将来

昔日本は、漆の国と言われたものですが、今では国産漆は生産量が激減しています。漆はとても優れた塗料で、数千年～1万年以上も長持ちしているものも発見されています。漆は大木にもなる木で、これを循環して植栽すれば無くなることのない資源になります。被災地に雇用を生むことで、漆産業の発展と伊達な伝統文化を守ることにつながります。

演題 【漆が創る・未来】



講師
MITAMURA ARISUMI
三田村 有純 氏

東京藝術大学学長特命、
国際交流室長、美術学部、
美術研究科教授

江戸蒔絵赤塚派十代。
漆芸の日本とヨーロッパとの交流について
ベルギーを中心に1年間調査研究をおこなう。
ヨーロッパ各地で作られ漆器（ラック）に与
えた日本の影響について『漆とジャパン』と
して出版をする。アジア各地との漆の展覧会
やシンポジウムなど主体的に運営し、世界の
漆の発展に寄与している。

演題 【これからのウルシ 植栽方法を考える】



講師
NAKAMURA HITOSHI
中村 人史 氏

山形県森林研究研修センター
主任研究員

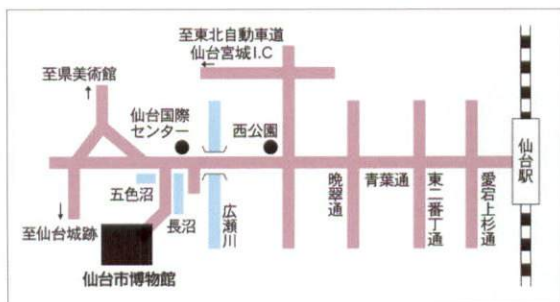
山形県職員採用、林業試験場（現山形県森林
研究研修センター）に配属。
以来森林病害虫、特用林産関係を担当。
ウルシは特用林産物として、植物の生理の基
礎調査から植栽技術の改良に取り組んでいる。
ウルシの研究成果として「漆サミット2013in
輪島」「漆を科学する会」第29回研究発表討論
会にて発表。

参加
無料

*定員200名

日時：平成26年 2月22日（土） 13：30～16：00（13：00開場）

会場：仙台市博物館 〒980-0862 仙台市青葉区川内26番地<仙台城三の丸跡>
ホール（1F） TEL：022-225-2557（代表） FAX：022-225-2558



【仙台市営バスご利用の場合】
・仙台駅西口バスプール9番乗場 710～720系統のバス（718系統を除く、
青葉台・成田山・宮教大・動物公園循環・交通公園川内(宮)行）で約10分
・仙台駅西口バスプール15-3番乗場 「るーぶる仙台」で約20分

*いずれも博物館・国際センター前下車、徒歩3分

【お車の場合】
仙台宮城インターより約15分（駐車場：普通車50台、バス5台駐車可能）
※駐車場には限りがあります。ご来館の際には、公共交通機関をご利用ください。